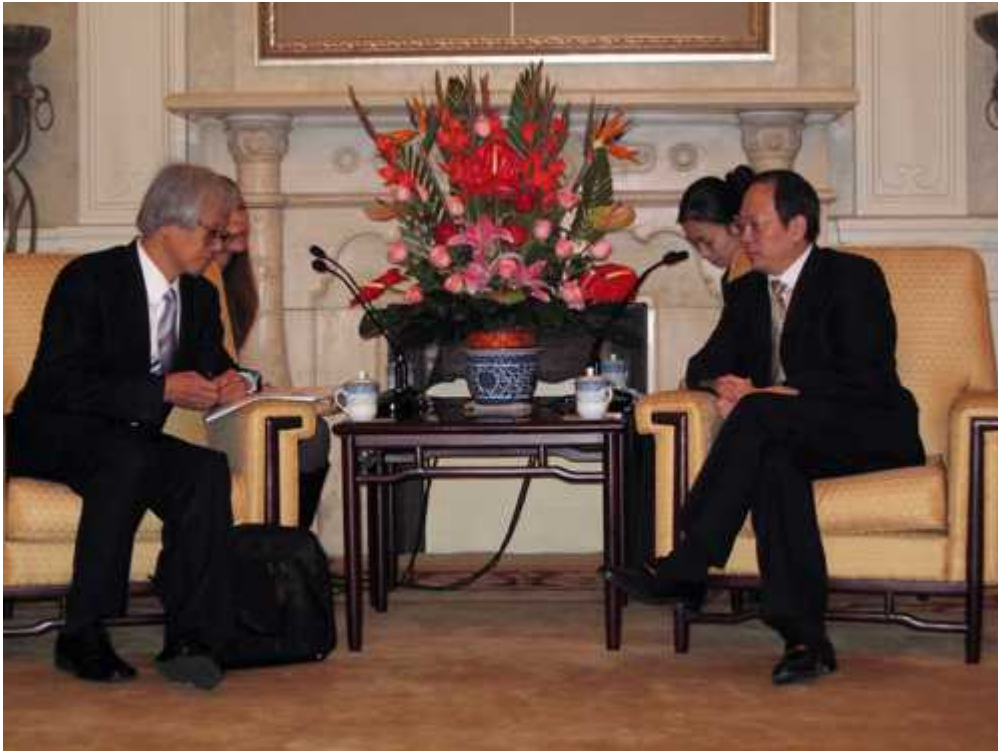


NRI藤沼社長が北京市苟仲文副市長を表敬訪問



【写真】(左)藤沼社長、(右)苟仲文副市長

NRI 上海の北京分公司が中心となって進めている、北京市に対する日本企業誘致のプロジェクト。同プロジェクトでは、電気自動車、バイオ・医療機器、LCD、ファインケミカル、中国事業統括拠点等の分野を中心に、関連する日本企業約 80 社を訪問、北京への進出意向と共に投資先としての北京に対する見方をヒアリングしている。

こうした活動の成果を踏まえて北京市政府に提言を行うため、2010年3月5日、藤沼彰久社長が北京市政府を訪問、苟仲文副市長(産業政策担当)ら市政府幹部と面談した。藤沼社長の挨拶に続き、NRI上海北京分公司の梅松林総経理から「戦略的な日本企業誘致」について、NRI 上海の葉副董事長から「首都国際産業特区」について提言を行った。

苟副市長は「戦略的な日本企業誘致」の提言に対して、「日本企業誘致のための専門窓口を設ける必要がある」と評し、投資促進局とNRIとの間で協議を進めるよう指示を出した。また、「首都国際産業特区」についても、「大変興味深い提言だ」「具体的な議論を進めたい」として、NRIとの協力関係の強化に期待を寄せた。